

産婦人科特任部長

水谷 勝美 KATSUMI MIZUTANI



女性の健康寿命の延長

日本の女性の平均寿命は世界1位ですが、普通に生活を営める健康な状態での寿命（健康寿命）は平均寿命より12年も短いことが知られています。男性ではこの差は6年であり、寝たきり状態ではなく、女性の健康寿命を延ばすことが、本当に求められています。女性は閉経までは卵巣が機能しており、卵巣から分泌される女性ホルモンが、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧、動脈硬化など）や骨の弱体化から女性の体を守っています。閉経後はこの女性ホルモンの防御がなくなるため、女性は急速に骨粗鬆症および生活習慣病などの種々の病気にかかりやすくなってゆきます。この女性にのみ特徴的な変化をとらえて、それに対処し、健康寿命の延長を目指すのは私たち婦人科医が率先して果たすべき重要な役割であります。外来診療の最重点項目と考えています。

婦人科がん患者さんの治癒と生活の質の向上を目指して

当院婦人科は埼玉県北部の最も重要な婦人科がん治療施設であります。初院長の藤間先生以来、子宮頸がん、体がん、卵巣がんの手術・治療を継続して行っており、私も平成6年より平成24年まで18年間がん・感染症センター都立駒込病院の婦人科責任者として婦人科がん治療を専門に行ってきました。その経験を生かして清水現院長と手を携えて婦人科がん患者さんの治癒と生活の質の向上を目指す治療を行ってゆきます。

経歴

昭和48年 東京大学医学部医学科卒業
昭和48年 東京大学医学部産科婦人科学教室入局
昭和54年 東京大学医学部産婦人科助手
昭和58年 大分医科大学産婦人科講師
昭和63年 都立駒込病院産婦人科医長
平成6年 都立駒込病院産婦人科指定医長
平成9年 都立駒込病院産婦人科部長
平成24年 社会福祉法人あそか会あそか病院産婦人科科長
平成26年10月 藤間病院産婦人科特任部長

学会活動

日本産科婦人科学会専門医・功労会員
日本婦人科腫瘍学会専門医・功労会員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本女性医学会会員
日本がん臨床試験推進機構プロトコール評価委員